

I 政策の推進

『FUKUOKA NEXT』の着実な推進

～成長の果実をあらゆる人に～

- 「元気で住みやすいまち、成長可能性が高いまち」にさらに磨きをかけ、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環の実感をあらゆる人に、そして、都心部から農山漁村地域まで行き渡らせ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指す
- 「人生100年時代」を見据えた持続可能な社会の実現に向けた取組み、高まる需要に対する都市としての供給力の向上、新しい時代に向けた先進的なまちづくりなどにより、安全・安心で持続的な好循環が可能な都市づくりを推進

★新規 ☆拡充

「温もり」

～市民一人ひとりに、温もりのあるまち～

- ☆新たな保育ニーズへの対応(多様な手法により2,000人分の定員確保)
 - ☆民間保育所等の整備に対する助成
 - ★幼稚園2歳児受け入れ促進事業
 - ☆閉園する姪浜幼稚園園舎への市立姪浜保育所の定員増を伴う移転整備
- ★医療的ケア児保育モデル事業
- ★一般不妊治療費助成事業
- ★子育て世帯住替え助成事業
- ☆スクールソーシャルワーカーの配置拡充(全中学校区に配置)
- ☆放課後補充学習の拡充(全小学校で実施)
- ☆生活保護世帯等の子どもを対象とした訪問型学習支援
- ★生活保護世帯の子どもの大学等への進学時に一時金を支給
- ★教育環境の充実
 - ①☆正規職員増による教育水準の向上
 - ②★平成32年度の学習指導要領改訂に向けた英語教育先行実施
 - ③★部活動指導体制の強化(部活動指導員73人を新規配置)
- ☆「福岡100」の推進～人生100年時代に向けて
 - ★認知症フレンドリーシティ・プロジェクト
 - ☆認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の普及
 - ★認知症カフェの設置促進
 - ★認知症の人の見守りネットワーク事業(LoRaWAN™) など
- ★精神障がい者支援体制の構築推進
- ★性的マイノリティ支援(パートナーシップ宣誓制度導入、専門相談電話開設)
- ★“殺処分ゼロ”を目指した犬猫パートナーシップ店制度の実施



「チャレンジ」

～経済活動が活発で、チャレンジできるまち～

- ★Society5.0(超スマート社会)へのチャレンジ
 - ①★観光ビッグデータを活用した観光案内・サービスの実証
 - ②★Fukuoka City LoRaWAN™を活用した河川水位観測の実証
- ★アジア太平洋都市サミット
- ☆グローバルスタートアップ推進事業
- ☆スタートアップ支援施設(Fukuoka Growth Nextの継続運営)
- ★市街化調整区域の活性化
 - ①☆地域産業の振興に向けた民間チャレンジの呼び込み
 - ②★早良区南部の自然を活用した観光PRと観光商品の造成
 - ③☆北崎地区の海づり公園を活用した活性化
 - ④★ドローンによる耕作放棄地調査の実証研究
- ★市内産未利用野菜の商品化に向けた産学官連携による実証研究
- ★微生物等を利用した博多湾の底質改善やアマモ場づくり
- ★中小企業の生産性向上に向けたセミナーやイベントの開催
- ★中小企業の人材確保支援(アプリ作成、学生との交流支援)
- ★商店街NEXTチャレンジャー育成、NEXT・FOODグランプリ
- ★博多織777周年記念事業への支援等による伝統産業の活性化
- ★博多旧市街プロジェクトの推進
- ★屋台の魅力発信事業
- ☆国際貢献・協力を通じたビジネス展開
- ☆大規模国際スポーツ大会の開催準備



「都市基盤」

～都市基盤が充実し、次の世代のために歩むまち～

- ☆ウォーターフロントネクスト
 - (ウォーターフロント地区再整備に向けた事業手法や交通対策の検討、第2期展示場関連インフラ整備等の推進など)
- ☆世界最大級のクルーズ船着岸に向けた中央ふ頭西側岸壁の整備
 - (平成30年秋頃 全面供用予定)
- ☆博多部の歴史・文化に配慮した趣のある道路への再整備
 - ・天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)の石畳整備
 - ・旧大名小学校跡地のまちづくり(事業契約)
 - ・九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり
- ☆青果市場跡地活用の検討(契約締結等)
- ☆総合体育館整備運営事業(平成30年秋 供用予定)
- ☆美術館リニューアル事業(平成31年3月 供用予定)
- ☆早良地域交流センター整備事業(事業者選定)
- ☆レベルファイブスタジアムの改修(ラグビーワールドカップ2019開催)
- ★「一人一花」運動
- ☆動植物園再生事業(平成30年秋 供用予定)
 - (動物情報館を含むエントランス複合施設を整備)
- ☆福岡城跡復元整備事業(潮見櫓復元設計着手)
- ★承継を前提としない合葬墓整備(設計着手)
- ★高度な機能等を有する機動救助隊の創設
- ☆下水道施設や水道管路・重要土木構造物の耐震化



II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

○市債残高を着実に縮減

[一般会計] ▲65億円

[全会計※] ▲475億円

※満期一括積立金を除く

○歳入確保、行政運営の効率化等

による財源の確保

57億円

III 平成30年度当初予算案の特徴

(増減は平成29年度当初予算比)

○一般会計は
過去最大規模

8,388億円(+60億円)

○市税収入が増加

+357億円

〔県費負担教職員に係る権限移譲に伴う
税率変更の影響を除いた場合 +97億円〕

○扶助費等の社会保障関係費
が増加

+62億円

○安心して生み育てられる
子育て環境の充実

こども育成費 +67億円